

お年寄りに大きな「プレゼント」

善久＝河川敷に福祉菜園

年金額が引き上げ

保険料も来年四月から

三千三百円に

昭和五十二年度の全国消費者物価指数が、六・七パーセント上昇したことに伴い、拠出制年金(老

齢をはじめ、障害・母子・準母子・遺児・寡婦の各年金)は、七月

から六・七パーセント引き上げられ

また年金が物価スライドしたことに伴い、保険料額は、昭和五十四年四月から一か月三、三〇〇円



この老人福祉菜園は、信濃川とその支流中ノ口川の合流点、七千七百七十平方メートルの畑を造成、老人福祉をより高めるため、無償で町内の老人に貸与し、生産活動を通じて、老人同志の親睦を図ると同時に、健康の保持増進に役立ててもらおうというもので、開園式は、午後二時から現地

で建設省信濃川下流工事事務所長、町長、助役、老人クラブ役員など関係者五十名が出席して、記念のくわ入れや種まきが行われ、老人クラブを代表して、笠原貞一さんが

信濃川治水事業百年を記念して建設省が行っている河川美化運動の一環として、町では善久地域の河川敷の一部を建設省から専用し老人福祉菜園を造成、去る九月十二日喜びの開園式が行われました。

後二時から現地建設省信濃川下流工事事務所長、町長、助役、老人クラブ役員など関係者五十名が出席して、記念のくわ入れや種まきが行われ、老人クラブを代表して、笠原貞一さんが

に改められます。なお、付加保険料はこれまでどおり月四〇〇円です。

一方、福祉年金(老齢や障害・母子・準母子の各年金)は、一〇パーセントを超える引き上げ幅になっており、五十二年八月から実施されます。

九月定例議会

十七議案を可決

九月定例議会(第三回)が、十八日招集され、会期十日間にわたって、一般会計補正予算(第四回)など議案十七件が審議され、いずれも原案どおり可決し、二十七日終了しました。可決議案の要旨は次のとおりです。

○町の境界変更
・新潟市流通センター建設予定地に当町の地積一部が含まれており、行政運営上支障があるため、北場、黒鳥の一部と新潟市小新の一部を等積交換し、境界を変更
○町(字)の区域並びに名称変更
・新潟市流通センター建設計画に伴う境界変更で、新潟市から本町に編入される区域の町(字)の区域並びに名称を変更
○教育委員の任命
・松井信一氏が任期満了のため

歳入・歳出それぞれ、二十四億七千四百七十六万八千円に
○農業共済事業特別会計補正予算(第一回)
○水道事業会計補正予算(第二回)
○新潟県町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の増加および規約の変更
○五泉地域衛生施設組合などが加入

○新潟県町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の増加および規約の変更
○三島町、与板町が加入、五泉広域圏不燃物処理事務組合が解散、佐渡市町村養護老人ホーム組合待機荘が佐渡市町村老人ホーム組合に名称変更のため
○新潟県町村人事事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び規約の変更
○五泉地域衛生施設組合が加入、新発田地域老人福祉施設一部組合が、新発田地域老人福祉事務組合に名称変更など
○専決処分承認
・一般会計補正予算(第三回)九百八十七万円を増額し、歳入歳出二十三億七千六百六十八万七千円に
○町道路線の認定
・北場八号線(旧北場公民館脇)四八・五メートル、巾員六メートルを町道に認定

○町(字)の区域並びに名称変更
・新潟市流通センター建設計画に伴う境界変更で、新潟市から本町に編入される区域の町(字)の区域並びに名称を変更
○教育委員の任命
・松井信一氏が任期満了のため

○町有財産の無償譲渡
・上越新幹線建設工事に伴う工事用車両の通行による交通安全確保のため設置された信号機(大野大橋北詰、鳥原堀ノ内詰、工場前)を、県に譲渡
○請願
町道鳥原新田二号線改良舗装に関する請願
高杉自動車鍍金工業協が県道新潟・亀田・内野線までの二六〇メートルの改良舗装を採択
○意見書
国民健康保険制度の改善強化に関する意見書の提出

宗村米助氏を教育委員に任命
○教育委員会教育長の給与及び勤務時間に関する条例の一部改正
・教育長給与、十七万七千円を改定し、二十五万五千円に
○五十二年度町農業共済事業特別会計、妻に対する事務費課税額及び賦課率について
・事務費課税額 二万六千円
事務費課税率 一〇・〇パーセント
妻共済割 一〇・〇パーセント 百十円
○一般会計補正予算(第四回)
・九千八百八十一千円を補正

また、二十六日には三名の議員が一般行政に対する質問を行い、「新潟県済生会病院の建設」等について、それぞれ町長の施政を正しました。

また、二十六日には三名の議員が一般行政に対する質問を行い、「新潟県済生会病院の建設」等について、それぞれ町長の施政を正しました。

また、二十六日には三名の議員が一般行政に対する質問を行い、「新潟県済生会病院の建設」等について、それぞれ町長の施政を正しました。

女性と年金

ちかごろ、サラリーマンの奥さんの間では、老後のことや年金の話でもちりとか……。そこで、「女性と年金」について考えてみましょう。

昭和五十二年の簡易生命表によれば、日本の女性の平均寿命は前年に比べ〇・六〇歳伸びて、七七・九五歳に達し、世界でも一、二を争う長寿国になりました。

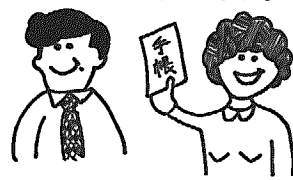
また、女性の平均寿命は男性より五年も長生きですし、一般的に夫婦の年齢差は奥さんのほうが主人より三歳許りとされていますから、奥さんは、普通ご主人の死後八年間も一人暮らしということになります。

八年という孤独な老後を何に頼るかということも、今から考えておく必要があります。

でも、ご安心ください。その心配を国民年金が解消してさしあげます。国民年金では、サラリーマンの奥さんが希望すれば加入できる道をひらいてあります。

国民年金に加入しますと、夫婦そろって老齢年金がうけられますし、まさかの時には障害年金や母子年金などが支給されます。

奥さん!! 国民年金に加入しましょう。



それに、奥さんの結婚期間(任意加入できた期間)については国民年金の加入期間(ただし、年金額の計算には含まれません)としてみなされますし、結婚以前に、年金の経験(厚生年金などの公的年金制度の加入期間が一年以上)があれば、その期間も合算されます。

国民年金の保険料は一月月二、七三〇円(五十四年四月から三、三〇〇円)ですが、より高額な老齢年金を希望される場合には、付加保険料一月月四〇〇円を合わせて掛けることもできます。

しかも、掛けた保険料はすべて社会保険料としてご主人の所得税の控除対象になります。また、国民年金に加入されていない奥さん!早速、国民年金に加入して「老後」に備えましょう。

入院患者のお見舞いは病院の規則を守って

入院患者は専門的な看護のもとに、継続的に観察を行いながら治療や安静を必要とされます。最近、見舞客の面会などで、いろいろな弊害が生じており、適正な医療ができないことも起っています。従って、町内はもとより、近隣の市町村の病院へ、お見舞いに行く場合、面会時間を厳守し、病院の規則を守るよう心がけて下さい。

次のような苦情があります。

- 患者
一、面会人の応待のため疲れる。
二、同室の患者に迷惑をかける。
- 医師
一、治療の妨げになる。
- 看護婦
一、応待に苦勞する。
二、安静時間、排便時間に見舞いに来る。
- 患者の名前も分らず見舞いに来る。
- 病室管理に問題がある。
①病室の中で見舞客が飲食する。
②見舞客(又は見舞品)が掃除の邪魔になる。
- 子供
一、抵抗力の少ない子供を、ばい菌のまん延している病院に親と一緒に連れて来ることは感染の危険性が大きい。
一、騒々しく他の患者に迷惑をかけるため、身体不自由者に衝突したりしている。
- その他
一、食事制限患者が見舞品を食べる。

食品衛生の巡回指導

●十月十七日

保健所及び食品衛生協会指導員による食品販売業者の食品衛生指導並びに大腸菌検査のための巡回指導が行われます。

これは保健所並びに食品販売業者で結成している食品衛生協会の指導員がより衛生的な施設で、より衛生的な食品が販売できるように巡回指導をするものです。

保健所では食品販売業者は勿論のこと、消費者の皆様からも「清潔」、「迅速」、「冷却又は加熱」の食品衛生三原則を守っていただき食品中毒予防を心掛けるよう求めています。

